

## 対象火気使用器具等使用時の注意及び統一事項について

①対象火気使用器具等の周囲に可燃物（紙・布巾等）を置かない、周囲は整理整頓に努める、上方1 m以上、前後側面は15 cm以上、可燃物から離隔すること。

②対象火気使用器具等是不燃性の床・台などの上で使う。

ここでいう不燃性とは・・・

※金属以外の不燃材料を使用する（金属は熱伝導率が高いので適さない）

※※対象火気使用器具等の下すべてに、すき間なく敷きつめるようにすること。

◎以下の不燃性の材料以外のものを使用する場合は、そのものが不燃材料であることを客観的に証明できるものであること。（外装袋箱・取説等）

「不燃性の床・台」の例として

○石膏ボード 12mm以上

（石膏ボードは濡れると崩れる・ボロボロになるものがあるので注意）

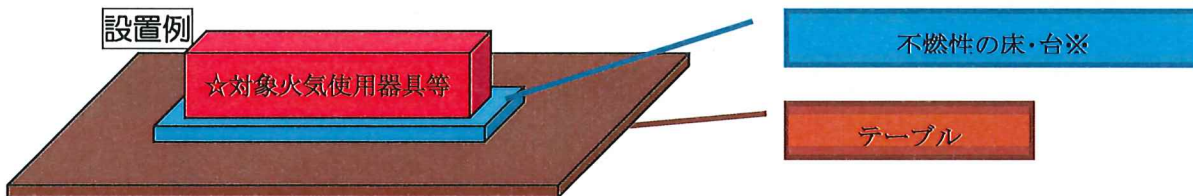
○ブロック・レンガ

○ケイ酸カルシウム板（ケイカル板） 5mm以上

○フレキシブルボード（フレキボード） 5mm以上

○ガラス繊維混入セメント板 3mm以上

○陶磁器質タイル・繊維強化セメント板



☆対象火気使用器具等は、気体・液体・固体燃料及び電気を熱源とする器具が該当。

(例)各種コンロ・フライヤー(LPG・ガス・灯油・電気)・炭焼器・焼釜・炊飯器・ホットプレート・電気ポット・綿あめ機・電熱器(ケバブ等)、電子レンジ等

◎対象火気使用器具等の直下が熱くなるかどうかで、不燃性の台等の必要の有無が変わるものではありません。

③消火器の設置

☆対象火気使用器具等を使用するブース（出店者）ごとに準備する。

設置する消火器は「業務用 ABC 粉末消火器 6型以上」のものとする。

取り出しやすい場所に置く。消火器の設置例は別図参照。

④プロパンガスのボンベを使用する場合

作業の邪魔にならない場所に転倒しないように固定する。ホースは必要以上に長くしないこと。

プロパンガスボンベの1つのコックから二股分岐等で分配させないこと(調整器から直接2系統に分かれているものはOK)。特にY字型単体の二股分岐は厳禁。

プロパンガスホースはオレンジ色(LPG用)の物を使用すること。接続は専用のホースバンド(クリップ)を使用する。

ホースはひび割れのないものを使用、固く、弾力性に欠ける物は使用不可。

⑤カセットガスコンロを使用する場合

カセットガスコンロ本体よりも大きい鉄板、フライパン及び鍋等を使用しないこと。(カセットガスボンベが加熱され、爆発等火災の危険あり)

⑥炭を使用する場合

使用後に完全に消火するか消壺へ入れること。穴を掘って埋めて帰らないこと。

⑦電気を使用する場合

過剰なたこ足配線に注意すること。電気使用量に応じて容量に見合ったコード(太いコード)を使用する。

雨の場合コンセント(接続部)に雨が当たらないように配慮する。

コードリールは使用方法を守り使用する、巻き取った状態で使用すると加熱し発火の原因となる。

※器具とテーブルの間に高さ調整や空気取入用に木材や汚れを防止するために段ボールを敷いているのを散見するが一切認められないので要注意。